

# Winter Tour in Shiso, Hyogo

兵庫県宍粟市では、民間企業との連携を強化し  
地域課題の解決に取り組んでいます。

今回は、冬の宍粟市をお楽しみいただくと同時に  
官民連携の実践現場を体感できる2日間をご用意しました。

モニター価格  
¥5,000-  
+tax

2023.  
02.06<sup>mon</sup>  
- 02.07<sup>tue</sup>

## 01

サントリーグローバルイノベーション  
センターの新作アプリ「腸 note」を用  
いた実証実験を同時開催！  
発酵食 × 腸 note による、新たな腸活  
体験をご紹介します。



## 02

冬だけの特別なプログラム、スノー  
シュー体験。雪の中でも、実は森のリ  
ラックス効果があるのです。童心に返っ  
て、雪上ハイキングを楽しみましょう！

\*降雪状況によりプログラム変更の可能性がございます



## About Shiso City

しそ  
宍粟市は、兵庫県中西部に位置し、淡路島と同程度の広大な市面積の約9割を森林  
が占め、「しそ森林王国」と呼ばれる豊かな自然にあふれています。  
また『播磨国風土記』の一節により、日本酒発祥の地とも言われ、「発酵のふるさと」  
として自然の恵みを古来から受け継ぎ、育んできた宍粟。  
史跡や伝統的な祭り、神話や伝説が今も多数残されており、四季折々でさまざまな  
表情をみせてくれます。





# Program

## day1 / 02.06

07:42 東京発 (のぞみ 81号)  
10:42 姫路着 レンタカーで移動  
11:45 オリエンテーション  
12:30 昼食 (発酵ランチ@老松ダイニング)  
13:30 山崎エリア散策  
14:15 移動  
15:00 庭田神社  
16:00 フォレストステーション波賀 着  
16:30 自由時間  
18:30 夕食

## day2 / 02.07

08:00 朝食  
09:30 移動  
10:00 赤西スノーシュー体験  
12:00 終了  
12:30 昼食 (セラピー弁当+味噌汁+甘酒)  
13:15 ディスカッション - 地域で取り組む SDGs -  
14:15 移動  
16:00 姫路駅にて解散



- ・費用補助は1社につき1名までとなります。
- ・自家用車をご希望の方は、現地集合 / 現地解散でもご参加いただけます。  
(特に宍粟市北部は積雪の可能性がありますので、運転にはくれぐれもご注意ください)
- ・姫路駅から宍粟市、および宍粟市内の移動については、全てツアー催行者で車を手配しております。  
解散は集合場所と同じになります。姫路駅までの移動は自己負担となりますので、ご了承ください。
- ・2日目のスノーシュー体験は、「汚れても構わない歩きやすい靴・長袖・長ズボン」をご用意ください。  
スノーシューはレンタルをご用意しております。
- ・自己負担金は別途ご案内する口座まで、事前にお振込みをお願いいたします。
- ・宿泊施設は、フォレストステーション波賀となります (無料 Wi-Fi あり)。  
宿泊に際しての各種アメニティ等は、公式 HP よりご確認ください。  
<https://www.foreststation-haga.jp/>

## Contact

宍粟市 営業部 (担当事務局: 株式会社さとゆめ 田房・浅原)

TEL : 03-5275-5105 E-mail : shiso\_pr@satoyume.com

宍粟市 市長公室 秘書政策課 (担当: 木村・西川)

TEL : 0790-63-3139 E-mail : seisakusuishin-kk@city.shiso.lg.jp

- \*参加をご希望の方は、お電話もしくは E-mail で、氏名・ご所属・ご連絡先をお知らせください
- \*「宍粟市営業部」は、宍粟市秘書政策課と(株)さとゆめの共同事業です



地域で広がる、ビジネスチャンス

# ローカル × 新規事業開発の最前線

会場：AP大阪梅田東

オンライン配信あり

しそろ  
主催：兵庫県宍粟市

近年、社会のライフスタイルやワークスタイルは大きく変化し、場所や時間に縛られない多様な働き方が広がっています。コロナ禍を経てこの動きは加速し、都市部から地方へ拠点を移す企業だけでなく、地域課題をビジネスチャンスと捉え、都市部から地方へ事業を拡げる企業も徐々に増えてきているのではないのでしょうか。

兵庫県宍粟市では、都市部企業との連携を通じた関係人口づくりを目的として、令和3年度から「宍粟市営業部」をさとゆめに委託しています。これまで2年間で3社と包括連携協定を結び、企業と連携した様々な取り組みが生まれています。

そこで今回のセミナーでは、「ローカル × 新規事業開発」をテーマに先進的な取り組みを行うゲストをお招きし、官民連携の最新動向をお伝えするとともに、複雑多様化する地域課題と一緒に取り組んでくださる企業を募集します。

7.13 日

14:30 - 16:00

名刺交換+ブース相談会 (リアル会場のみ)

16:00 - 17:00

## 第1部：先進事例紹介

地域とともに取り組む研修やローカルビジネス開発の最新事例をご紹介します。



ALIVE / 100DIVE / CONNECTIVE  
庄司 弥寿彦



MINDS / 日本マイクロソフト  
山本 築



サントリ-グローバル  
イノベーションセンター  
金川 典正



宍粟市長  
福元 晶三



さとゆめ / 宍粟市営業部長  
浅原 武志

## 第2部：パネルディスカッション

企業の中で官民連携やワーケーションに取り組む先駆者たちをゲストに迎え、宍粟市長とともに「ローカル × 新規事業開発」をテーマに議論を交わします。宍粟市営業部長の浅原がモデレーターを担当。

- 開催日 7月13日(木)
- 参加費 無料
- 場所 AP大阪梅田東  
大阪府大阪市北区堂山町3-3  
日本生命梅田ビル5F
- 定員 30名(オンライン70名)
- 申込 下記フォームからお申込ください  
<https://shiso2023.peatix.com>

### 来場者特典

#### 01 名刺交換+ブース相談会

セミナー終了後に、リアル会場限定で名刺交換+ブース相談会を開催します。登壇者によるブースは「宍粟市」「新規事業開発」「ワーケーション&健康経営」の3箇所を予定。商談はもちろん、名刺交換だけでも大歓迎です！

#### 02 全粒甘酒「にわの糍」贈呈

発酵のふるさと宍粟の糍を使用した全粒甘酒「にわの糍(はな)」。

宍粟市内でしか手に入らない甘酒を、来場者限定で特別にプレゼントいたします。



問い合わせ先 > 宍粟市秘書政策課 (西川・木村) ☎ hishoseisaku-ka@city.shiso.lg.jp ☎ 0790-63-3139  
株式会社さとゆめ (田房) ☎ shiso\_pr@satoyume.com ☎ 03-5275-5105



# 森林セラピーで企業の健康経営をサポート トッパン<sup>グループ</sup>G健保と 20 日に協定

<p><b>概要</b></p>	<p>市と凸版印刷株式会社を母体とするトッパングループ健康保険組合が7月20日、県立国見の森公園で「森林（もり）まち宍粟包括連携協定」の締結式を執り行います。同組合が宍粟での宿泊や森林セラピー体験などを通して加入者である企業の従業員とその家族の健康増進を図るほか、市は関係人口の創出をめざします。健康保険組合と連携し、森林セラピーで企業の健康経営をサポートするこの取組は関西では初めてです。</p> <p>協定調印式と協定による取組は次のとおりです。</p> <p><b>日時</b> 令和4年7月20日（水）15時40分</p> <p><b>会場</b> 県立国見の森公園 野外広場（モノレール山上駅前） ※雨天の場合は市役所1階市民ロビーで15時開始</p> <p><b>内容</b> 協定書への調印と取組の紹介 会場への移動は、国見の森公園のモノレールを利用します 山麓駅 15時10分発 山上駅 17時10分発（式典の終了時間によって変わります）</p> <p><b>協定による取組</b> トッパングループ健康保険組合が指定保養施設に位置づけた施設を利用する加入者の宿泊費と森林セラピーなどの体験利用料を補助します。</p> <p><b>本報道発表の情報解禁日時</b> 令和4年7月20日 17時以降（各マスメディア一斉解禁）</p>			
<p><b>参考資料</b></p>	<p>プレスリリース資料、取材返信用紙</p>			
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1904 742 1993"> <p>所属 秘書政策課</p> </td> <td data-bbox="742 1904 1061 1993"> <p>担当 木村 智行</p> </td> <td data-bbox="1061 1904 1356 1993"> <p>TEL 0790-63-3139</p> </td> </tr> </table>	<p>所属 秘書政策課</p>	<p>担当 木村 智行</p>	<p>TEL 0790-63-3139</p>
<p>所属 秘書政策課</p>	<p>担当 木村 智行</p>	<p>TEL 0790-63-3139</p>		



## 関西初、森林の力を活用した健康経営の実践 7/20 調印セレモニーを実施

兵庫県宍粟市（市長：福元晶三）とトッパングループ健康保険組合（理事長：大久保伸一）は、主に関西エリアにお住まいの加入者の健康増進と、宍粟市の関係人口増加を目的に「森林（もり）まち宍粟包括連携協定」を締結することになりました。都市部企業の従業員の健康増進活動に森林セラピー等の活用を行うのは、関西では初の取り組みとなります。

### 1. 背景

宍粟市は兵庫県中西部に位置し、広大なエリアの約9割を森林が占め、「しろう森林王国」と呼ばれる豊かな自然にあふれています。その森林資源を生かし、兵庫県下初めてとなる森林セラピー基地に認定をされ、都市部企業の健康経営推進の協力をしてきました。本市では、森林セラピーを導入する企業を増やし、関係人口の増加を目指し、2021年に民間企業に営業業務を委託し、その動きを活発化させてきています。

トッパングループ健康保険組合は、心身ともに健康になるメソッドとして、「身体（Physical）」、「食（Meal）」、「心（Mind）」の3つのバランスを整えていく、PMMプログラム活動を推進し、特に心の健康づくりを強化させるべく、2019年から森林セラピーを導入した新たな健康づくり施策を開始し、長野県信濃町、長野県小海町と協定を締結してきました。日本の各地に拠点を持つグループということで、森林セラピー等のコンテンツを持つ自治体との連携を模索しており、この動きを活発化させています。

このような背景から、宍粟市とトッパングループ健康保険組合は、主に関西エリアにお住まいの加入者の健康保持増進と、宍粟市の関係人口増加を目的に「森林（もり）まち宍粟包括連携協定」を締結することになりました。

### 2. 取り組み内容

トッパングループ健康保険組合は、宍粟市にある宿泊施設を新たなる指定保養施設と位置づけ、加入者が宿泊した際、4,000円/人の補助を行います。さらに宍粟市が進める森林セラピー及び森林セラピーバイクに参加した際も3,000円/人の補助を追加し、心身ともに健康になっていただき、宍粟市のファン・関係人口になっていただく取り組みからスタートします。

～補助制度のご利用例～

4人家族で癒しの森の宿に宿泊して森林セラピー（半日）を行った場合の大人1人あたりの料金

$$14,700\text{円} + 2,250\text{円} - (4,000\text{円} + 3,000\text{円}) = 9,950\text{円}$$

(宿泊代) (森林セラピーガイド代) (宿泊費用補助) (森林セラピー利用補助)

### 3. 調印セレモニー

- 日 時 7月20日(水) 午後3時40分  
場 所 兵庫県立「国見の森公園」 野外広場(モノレール山上駅前)  
次 第
- ・開 会
  - ・来賓紹介
  - ・調印式  
宍粟市 福元市長  
トッパングループ健康保険組合 加藤専務理事  
立会人 宍粟市営業部 浅原営業部長((株)さとゆめ取締役)
  - ・主催者挨拶
  - ・来賓代表挨拶
  - ・記念撮影
  - ・閉会

### 4. 本件に関する問い合わせ

#### 【兵庫県宍粟市】

宍粟市 秘書政策課(担当:西川・木村)

〒671-2574 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6

TEL: 0790-63-3139 FAX: 0790-63-3060 E-mail: hishoseisaku-ka@city.shiso.lg.jp

#### 【トッパングループ健康保険組合】

ヘルスケアチーム(担当:梅木)

〒110-8560 東京都台東区台東 1-5-1

E-mail: healthcare@toppankenpo.or.jp

#### ○森林セラピー

森林セラピーはハイキングでも、登山でもなく健康のために森に入る、新しい森の楽しみ方です。森林には、わたしたちを癒し、健康に導く力があることが実証されています。森林セラピーとは、森林浴から一歩進んだ医学的な証拠に裏付けされた森林浴効果のことで、森を楽しみながらこころと身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指します。



#### ○森林セラピーバイク

宍粟屈指の森林「赤西溪谷」を舞台に、健康維持、病気の予防を目的とした森林浴である「森林セラピー」とE-BIKE(電動アシスト付きマウンテンバイク)で爽快に駆け抜けるサイクリングを同時に体験できるプログラムです。全国65カ所に広がる森林セラピー基地でもこの体験ができるのは、唯一宍粟市だけです。





# 発酵のまちづくり推進へ 小林製薬と連携協定を締結

<p style="text-align: center;"><b>概 要</b></p>	<p>製薬大手の小林製薬株式会社（本社：大阪市中央区）と市はこのほど、協働で発酵によるまちづくりを推進する「森林まち宍粟包括連携協定」を締結しました。同社がもつ抗菌技術や知見を日本酒や発酵食づくりに活用するほか、市の観光や商工業の振興に取り組み、地域経済の発展につなげます。</p> <p><b>協定の概要</b></p> <p><b>締結日</b> 令和4年10月31日</p> <p><b>締結者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小林製薬株式会社 執行役員日用品事業部長 <small>さくたのぶお</small> 作田暢生</li> <li>・宍粟市長 福元晶三</li> </ul> <p><b>連携事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 発酵文化の継承・振興に関すること</li> <li>(2) 観光振興や商工業振興など地域経済の発展に関すること</li> <li>(3) 抗菌技術による地域貢献に関すること</li> <li>(4) その他、両社が協議し、必要と認めること</li> </ol> <p><b>キックオフミーティング</b></p> <p><b>日 時</b> 令和4年11月18日（金）16時～17時</p> <p><b>場 所</b> 宍粟市役所4階 403会議室（宍粟市山崎町中広瀬 133-6）</p> <p><b>内 容</b></p> <p>酒づくりで使用する設備や衣類などの抗菌加工への技術支援や菌に関する知識を生かした食育活動など幅広い分野での今後の取り組みを話し合います。</p> <p><b>参加者</b></p> <p>山陽盃酒造株式会社、老松酒造有限会社、小林製薬株式会社、株式会社さとゆめ（宍粟市営業部）、宍粟市</p>			
<p><b>参考資料</b></p>	<p>報道発表資料、森林まち宍粟包括連携協定書</p>			
<p><b>問合せ先</b></p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">所属 秘書政策課</td> <td style="width: 33%;">担当 木村 智行</td> <td style="width: 33%;">TEL 0790-63-3139</td> </tr> </table>	所属 秘書政策課	担当 木村 智行	TEL 0790-63-3139
所属 秘書政策課	担当 木村 智行	TEL 0790-63-3139		





報道関係各位

2022年11月吉日

兵庫県宍粟市

## 兵庫県宍粟市と小林製薬が、 発酵文化の継承と発展に向けた包括連携協定を締結 ～小林製薬の抗菌技術とノウハウを活かし、「発酵のふるさと 宍粟」の活性化を支援～

兵庫県宍粟市（市長：福元晶三、以下「宍粟市」）は、小林製薬株式会社（本社：大阪市、社長：小林章浩、以下「小林製薬」）と「森林（もり）まち宍粟包括連携協定」を締結しました。

本協定は、地方創生を通じて個性豊かで魅力ある地域社会の実現などに向けた取り組みが進む中、宍粟市と小林製薬が相互に連携を図り、双方の保有する資源を有効に活用することにより、「日本酒発祥の地」である宍粟市の地方創生を推進することを目的に締結したものです。



調印式の様子

（左：小林製薬 執行役員 日用品事業部 事業部長 作田暢生  
/右：兵庫県宍粟市長 福元晶三）



10月31日、小林製薬本社にて調印式を開催しました

## 1. 取り組みの背景

宍粟市は、日本酒について最古の記述がある『播磨国風土記』の一節により、庭田神社（宍粟市一宮町）で初めて「かび=麴」を使用した“庭酒”を作り神様に献上したことから、日本酒発祥の地と言われていています。豊かな自然や澄んだ空気、清らかな水に恵まれた当市では、日本酒をはじめとする地域独自の“発酵文化”を育て、新たな価値を創造していくことを目指して、「発酵のふるさと 宍粟」として、発酵資源を生かしたまちづくりに取り組んできました。

一方、小林製薬は、「菌」による様々な問題を解決するため、抗菌・抗ウイルス性を併せ持った持続性抗菌剤「KOBAGUARD（コバガード）」を活用し、繊維から硬質まで幅広い素材の製品に対して、抗菌加工を支援してきました。KOBAGUARDは、「まもる、つづく、つながる」をブランドスローガンに掲げています。そのなかで、“全ての菌を抗菌する”のではなく、“不要な菌だけを抗菌する”といった新しい菌との付き合い方をカタチにしていくことを目指しています。

そこで、小林製薬が抗菌事業で培ってきた抗菌技術を活かして、人々の暮らしに良い影響を与えている菌を活用した日本酒文化・発酵文化の継承を支えることで、「日本酒発祥の地」、「発酵のふるさと」である宍粟市の発展に向けて協働して取り組みを行なっていくことになりました。

その第一歩として本協定を締結し、小林製薬が持つ技術や知見を提供いただき、宍粟市における日本酒や発酵食づくりの現場に悪影響を及ぼす「不要な菌」による悩みを解決し、酒づくりにかかせない菌である「麴」を活かす取り組みなどを推進してまいります。



日本酒発祥の地  
発酵のふるさと 宍粟  
しそ



『播磨国風土記』により日本酒発祥の地とされる庭田神社「ぬくみの泉」



小林製薬の抗菌技術が結集した持続性抗菌剤「KOBAGUARD（コバガード）」。

ロゴの由来は、開発のきっかけになった潜水艦

## 2. 取り組み内容

小林製薬が有する技術や知見を活かして、発酵文化の継承・振興を中心に、観光振興や商工業振興など地域経済の発展に向けた取り組みを行なってまいります。

具体的には、宍粟市で江戸時代から続く二つの老舗酒蔵の抗菌加工や、日本酒造り現場で使用する作業着や布の抗菌加工による技術支援、「菌」に関する知識を活用した発酵食育など、幅広い分野での協働を検討しています。



### <取り組み内容のイメージ>



① 酒蔵の抗菌加工



② 日本酒造り現場（作業着・布）の抗菌加工



③ 発酵食育教室での抗菌加工



④ 伝統工芸品「播州山崎藍染織※」の抗菌加工

※藍の葉を発酵させることで、染料に有効な菌が活性化し染色が可能になります

### 3. 今後の展開

さらに長期的な計画として、小林製薬が持つ技術やノウハウの提供を通して、兵庫県立「国見の森公園」や、古民家を改装したカフェ・宿泊施設などの、宍粟市が保有する多様な地域資源と文化の発展を目指していきます。





## ○ 森林（もり）まち宍粟包括連携協定とは

宍粟市では、令和4年度より都市部企業との連携強化を図っており、以下の2つの目的で包括連携協定「森林（もり）まち宍粟包括連携協定」を締結しています。

- ①企業課題解決型：森林セラピーをはじめ、発酵文化、アウトドアアクティビティなど、市の地域資源を組み合わせたプログラムやコンテンツを生かし、企業が抱える課題解決や、社員研修・福利厚生・SDGs活動等で継続的に地域を活用いただくこと
- ②地域課題解決型：企業が有するソリューションや技術、ノウハウを活用し、多様な分野で宍粟市が抱える課題解決に向けて協働して取り組むこと

## ○ 小林製薬「KOBA-GUARD（コバガード）」について

KOBA-GUARD に活用されている技術は、元々、潜水艦の閉ざされた空間でカビなどの微生物の増殖をコントロールするために開発されました。小林製薬による基礎研究においては、様々な細菌・カビ・ウイルスに対して効果を発揮するというデータも得られています。また、「KOBA-GUARD」には、繊維の種類や硬質などを問わず、様々な素材を加工できる可能性があり、これまでもアパレル、い草製品、空気清浄機の加湿フィルターなどに活用されています。

KOBA-GUARD は、加工方法の検討や効果検証サポートなどの技術支援も可能で、お客様の困りごとの解決に並走しています。これからも技術の進化を図り、公衆衛生などの社会課題解決を目指していきます。

「KOBA-GUARD」ブランドサイト：<https://www.kobayashi-vs.co.jp/brand/koba-guard/>

以上

— 本件に関するお問い合わせ先 —  
宍粟市 秘書政策課(担当:西川、木村)

〒671-2574 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6  
TEL:0790-63-3139 FAX:0790-63-3060  
E-mail:hishoseisaku-ka@city.shiso.lg.jp